

クインテット サロン コンサート



對馬 哲男
(TSUSHIMA Tetsuo)
Violin

〈プログラム〉

ピエルネ：ピアノ五重奏曲 Op.41
フランク：ピアノ五重奏曲 へ短調

*プログラム等は、やむを得ない事情により、変更になる場合がございます



中村 翔太郎
(NAKAMURA Shotaro)
Viola



鈴木 舞
(SUZUKI Mai)
Violin



小島 幸法
(KOBATAKE Yukinori)
Cello

2021年 7月31日(土)

18:30 開場/19:00 開演

入場料:会員4,500円(座席指定可)/
一般5,000円/学生2,500円(全席自由席)

フランクと、その弟子ピエルネ。
フランスのロマンチズムが薫る、
二つのピアノ五重奏をお届けします。
真夏の夜にぴったりなドラマチックな世界をお楽しみください。

(鈴木舞)



森本 隼太
(MORIMOTO Shunta)
Piano

偶然引き合わされた
メンバーが、美竹サロン
に集う！ 真夏の夜に
ぴったりな二つの
ピアノ五重奏曲



クインテットサロンコンサート

セザール・フランクが35年ぶりに描き上げた室内楽曲。
偶然引き合わされたメンバーによる、ピアノ五重奏曲へ短調の全貌——

2021年 7月31日(土)
18:30 開場/19:00 開演
入場料:会員4,500円(座席指定可)/
一般5,000円/学生2,500円(全席自由席)



鈴木 舞 (SUZUKI Mai) Violin

東京芸大を経て、ローザンヌとザルツブルグ、ミュンヘンで研鑽を積み、チャイコフスキー国際コンクール最年少セミファイナリスト。ヴァーツラフ・フルム国際コンクール、オルフェウス室内楽コンクール優勝。スピヴァコフ国際コンクール第二位。読響、東響、ホープ響、モラヴィアフィル、クオビオ響、ローザンヌ室内管等、内外のオーケストラと共演を重ね、各地で室内楽やリサイタルに招かれている。キングレコードよりデビューCD「Mai favorite」をリリース。
使用楽器は1683年製ニコロ・アマティ。
Website: <https://maiviolin.com>



對馬 哲男 (TSUSHIMA Tetsuo) Violin

東京芸術大学音楽学部器楽科卒業後、同大学音楽研究科修士課程修了。三菱地所賞、アカンサス音楽賞受賞。読売新人演奏会、藝大室内楽定期演奏会、Jが育てるアンサンブルシリーズ等に出演。第22回かながわ音楽コンクール最優秀賞、神奈川県知事賞受賞。
第60回全日本学生音楽コンクール全国大会第一位。第23回リゾナーレ室内楽セミナー優秀賞。
現在読売日本交響楽団 次席第1ヴァイオリン奏者。



中村 翔太郎 (NAKAMURA Shotaro) Viola

兵庫県三田市出身。
第15回コンセルヴァトワール・マロニエ21楽器部門第1位、他多数入賞。ウィーンフィル・ペルリンフィルメンバーと共演するなど国内外で活躍している。大阪フィルハーモニー交響楽団や日本センチュリー交響楽団、ベトナム交響楽団に客演首席奏者として出演。
東京ジュニアオーケストラソサエティ講師。藝大同期による弦楽アンサンブル「TGS」代表。東京藝術大学卒業。
現在NHK交響楽団首席代行ヴィオラ奏者。



小島 幸法 (KOBATAKE Yukinori) Cello

NHK交響楽団チェロ奏者。東京藝術大学音楽学部卒業。同大学院音楽学部修士課程修了。これまでにチェロを金木博幸、間瀬利雄、菊田雅治、山崎伸子、藤森亮一の各氏に師事。
マスタークラスをW.ヴェツチャー、P.ドゥマンジェ、D.ゲリンガスの各氏に師事。
マスタークラスをW.ヴェツチャー、P.ドゥマンジェ、D.ゲリンガスの各氏に師事。ソロ室内楽、スタジオレコーディング等幅広く活動中。
ENSEMBLE FOVEメンバー。
ENSEMBLE FOVE公式サイト
<https://www.fove.tokyo/>



森本 隼太 (MORIMOTO Shunta) Piano

2004年生まれ。ピティナ・ピアノ/コンペティション全国大会において、2018年G級金賞、2020年特級銀賞および聴衆賞。全日本学生音楽コンクールピアノ/部門において、2015年第69回小学生の部全国大会第1位、2017年第71回中学生の部全国大会第2位。2018年Aloha International Piano Festival/ソロジュニア部門1位、コンチェルト部門優勝。2019年PIANALE International Piano Academy & Competition 審査員賞、特別賞KNS Classicalを受賞。2020年Arsonore International Music Festivalに参加。2017年福田靖子Scholarship、2020年AOIDE Scholarshipを取得。現在、関本昌平氏、William Grant Naboré氏に師事。サンタ・チェチーリア音楽院、学校法人角川ドワンゴ学園N高等学校に在学中。

美竹サロンの主催公演は、偶然の出会いによって、流動的に決定することがあります。

今回のメンバーは、ピティナの入賞者ガラコンサートで偶然に引き合わされたメンバーによって実現しました。

コンサートのリハーサルで、急遽、サロンをご利用いただいたのですが、そこで繰り上げられたフランクのピアノ五重奏曲が、あまりに叙情的で素晴らしいものから、リハーサルにも関わらず、思わず聴き入ってしまいました。

ガラコンサートでは第1楽章のみの演奏でしたが、聴き手も演奏家も「1楽章だけではもったいない! 最後までこのフランクの作品を体験したい!」そう思ったことではないでしょうか。そんな両者の思いが一致し、この作品の全貌を明らかにする演奏会が実現となった次第です。

今回、鈴木 舞氏をはじめとする、對馬 哲男氏、中村 翔太郎氏、小島 幸法氏という本格派演奏家たちが、注目されている 16歳の若手ピアニスト、森本 隼太氏と共演します。そんなメンバー構成についても注目すべきではないでしょうか。

アンサンブルは音楽で対話するような面白さがあることから、相互に影響し合うことで、アイデアが生まれ、音楽の可能性が無限に広がります。

森本氏の才能を高く評価する鈴木氏は、彼の表現力の幅広さ、柔軟性に驚き、もっと共演をしたいと語っています。鈴木氏は多彩な音楽的なセンスと表現力を持つ素晴らしいヴァイオリニストですが、共演者から受けるイメージの豊さにも感心させられたそうです。

さらに、今回取り上げられるフランクのピアノ五重奏曲へ短調については、面白い逸話があります。この曲はフランクが約35年ぶりに作曲したとされる室内楽作品であり、初演のピアノを担当したフランクの友人であるサン＝サーンスに献呈を試みましたが、サン＝サーンスは拒否し、楽譜をピアノの上に放り出したままさっさと帰ってしまったそうです。

フランクの持ち味でもある叙情的な美しさ、曖昧さが、どこか悲観的で緊迫した空気で繰り上げられる魅力的な作品ですが、形式美を重視していたサン＝サーンスにとっては理解に苦しむ内容だったのかもしれない。

そんな興味深い逸話も残る作品ですが、今回、偶然によって引き合わされたメンバーによって、35年越しに馳せたフランクの心情に、寄り添ってみたいものです。
(美竹清花さろん)



世界に通用する才能溢れる
トップアーティストが
続々と集結!

大ホールのプラチナ席をしのご
生演奏の醍醐味、
一期一会で味わう圧倒的な臨在感。

日本のトップクラスの若手演奏家が、
こだわり抜いた価値ある企画をお届けしていきます。
美竹清花さろんが追求する“本物の音楽”は、
演奏者と参加者とわたしたちの、
三位一体の努力と対話から生まれます。

大好評につき
サロン・メンバーズ
追加募集中!



誕生。
クラシック音楽サロン、
宮益坂、
渋谷駅 徒歩2分



●お問い合わせ

株式会社 ILA (美竹清花さろん)
東京都渋谷区渋谷1-12-8 (〒150-0002)
☎ 03-6452-6711 (平日 10:00-18:00)
070-2168-8484 (時間外可)
Fax 03(3409)0188

